

# 基礎学力試験問題



## 1 受験心得

- (1) 指示があるまで開いてはいけません。
- (2) 問題の内容に関する質問にはいっさい回答しません。
- (3) 試験時間中はすべて係員の指示に従ってください。
- (4) 計算等は余白を利用してください。計算機、定規、分度器、コンパス等の使用は認めません。
- (5) 携帯電話等の電源を切り、使用できない状態にしてカバン等にしまってください。

## 2 注意事項

- (1) 受験番号及び氏名を解答用紙の決められた欄に記入してください。(2枚目にも記入してください。)
- (2) 問題は、①～②までで、全部で9ページにわたって印刷してあります。
- (3) 基礎学力試験の試験時間は、80分です。
- (4) 声を出して読むではいけません。
- (5) 答えはすべて解答用紙の解答欄に記入してください。
- (6) 答えを直すときは、きれいに消してから、新しい答えを書いてください。

1 資料1、グラフ2、表3、グラフ4、表5、グラフ6、資料7、グラフ8、9を参照し、以下の問いに答えなさい。

問1 グラフ2は、アイヌについての下記の資料1を提示して、「アイヌの人々やアイヌ文化に接した機会の有無」を尋ねたものであり、表3は、その都市規模・年齢別の割合である。

グラフ2、表3から読み取れることとして、誤っているものを以下より一つ選びなさい。

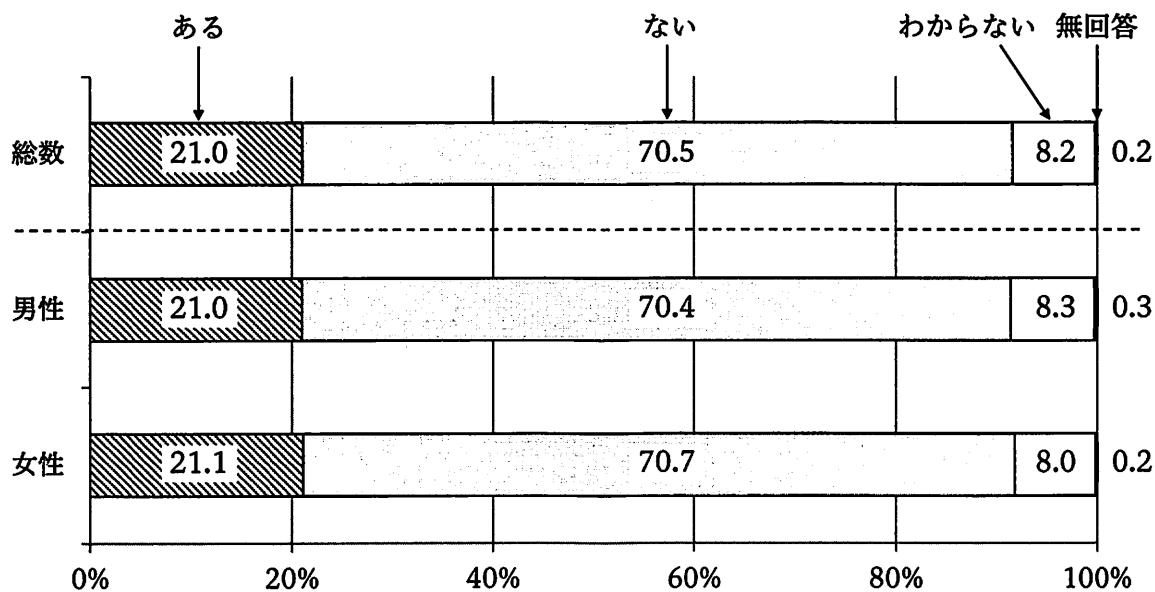
- (ア) 総数、男性、女性のいずれも、「アイヌの人々やアイヌ文化に接したことがある」が約2割、「アイヌの人々やアイヌ文化に接したことはない」はいずれも7割を超えており、あまり違いは見られない。
- (イ) 都市規模別に見ると、「アイヌの人々やアイヌ文化に接したことがある」は、小都市以外は2割台であり、「アイヌの人々やアイヌ文化に接したことはない」は、大都市以外は7割台である。
- (ウ) 都市規模別に見ると、「アイヌの人々やアイヌ文化に接したことがある」と「アイヌの人々やアイヌ文化に接したことはない」の割合の差が最も大きいのは、小都市である。
- (エ) 年齢別に見ると、「アイヌの人々やアイヌ文化に接したことはない」と「わからない」の割合の合計が最も高いのは、50～59歳である。
- (オ) 年齢別に見ると、「アイヌの人々やアイヌ文化に接したことがある」の割合が最も高いのは、60～69歳であり、「アイヌの人々やアイヌ文化に接したことはない」の割合が最も高いのは、40～49歳である。

資料1 アイヌについて

- ・アイヌの人々は、日本列島北部周辺、とりわけ北海道に先住し、かつては、狩猟・漁労・採集や交易を行い、独自の言語や文化を形成していましたが、北海道開拓時代に日本語教育や漁の制限などにより、アイヌの文化は深刻な打撃を受けました。
- ・現代では、衣食住などの日常生活において、他の日本人と変わらない様式で生活しています。
- ・最近では、民族共生象徴空間、愛称ウポポイなどを通じたアイヌ文化の振興と普及啓発が行われています。

出典：内閣府「アイヌに対する理解度に関する世論調査(令和4年11月調査)」より作成

グラフ2 アイヌの人々や文化に接した機会の有無



出典：内閣府「アイヌに対する理解度に関する世論調査(令和4年11月調査)」より作成

表3 アイヌの人々や文化と接した機会の有無(都市規模・年齢別)

		ある	ない	わからない	無回答
都市規模	大都市	26.7%	64.9%	8.2%	0.2%
	中都市	21.2%	70.1%	8.4%	0.3%
	小都市	14.6%	77.4%	7.8%	0.3%
	町村	20.0%	71.9%	8.1%	0%
年齢	18～29歳	21.2%	68.8%	10.0%	0%
	30～39歳	17.9%	67.3%	14.2%	0.6%
	40～49歳	18.3%	72.9%	8.8%	0%
	50～59歳	18.5%	71.0%	10.1%	0.4%
	60～69歳	25.5%	70.6%	3.9%	0%
	70歳以上	22.1%	70.8%	6.7%	0.4%

出典：内閣府「アイヌに対する理解度に関する世論調査(令和4年11月調査)」より作成

問2 グラフ4は、「アイヌの人々に対する差別や偏見の有無」を尋ねたものであり、表5は、その都市規模・年齢別の割合である。

また、グラフ6は、グラフ4で「(差別や偏見が) あると思う」と答えた者に対し、そう思った理由を複数回答で尋ねたものである。

グラフ4、表5、グラフ6を参照し、次の文章の空欄( A )～( F )にあてはまる語句や数値を選択肢から選びア～ソの記号で答えなさい。また、空欄( ① )～( ④ )にあてはまる数値を記入しなさい。①～④は小数第1位まで答え、数値の計算は小数第2位を四捨五入し小数第1位で答えなさい。

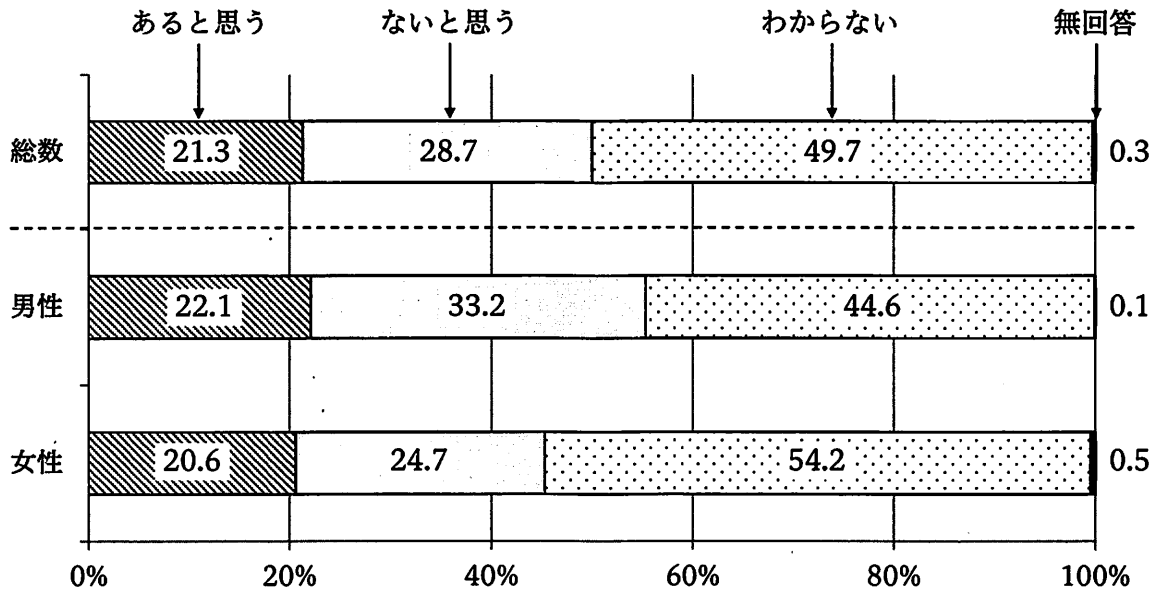
まず、グラフ4を見ると、「アイヌの人々に対する差別や偏見の有無」について、総数において、「あると思う」は21.3%、「ないと思う」は28.7%、「わからない」が49.7%となっており、「わからない」が半数近くを占めている。性別で見ると、「あると思う」は、男性も女性も20%強であり大きく違わないが、「ないと思う」は、男性のほうが女性より( ① )%高くなっている。また、「わからない」は、女性のほうが男性より( ② )%高くなっている。

これを都市規模・年齢別に示した表5を見ると、都市規模別では、「ないと思う」の割合が最も高いのは、町村で34.1%となっており、「あると思う」と「わからない」を合計した割合が最も高いのは、( A )で72.9%となっている。また、年齢別では、「ないと思う」の割合が最も高いのは( B )で、最も低いのは( C )であるが、その差は14.7%である。また、「あると思う」と「わからない」を合計した割合が最も高いのは、( D )で78.4%となっており、最も低いのは( E )で( ③ )%となっているが、これが7割を超えている年齢層の数は全部で( F )つある。

そして、差別や偏見があると思うと答えた者に対し、そう思った理由を尋ねたグラフ6を見ると、e 友人・知人など身近な人が差別を受けているからや差別を受けていることを聞いたという理由(「a 報道などを通じて…」、「d 昔、学校の授業で…」、「f 自分子どもから…」)の割合は、そのようなイメージがあるという理由(「b 漠然と差別や偏見が…」、「c 経済格差や教育格差が…」)の割合の( ④ )倍である。

【選択肢】	ア 18～29歳	イ 30～39歳	ウ 40～49歳	エ 50～59歳	オ 60～69歳
	カ 70歳以上	キ 1	ク 2	ケ 3	コ 4
	サ 5	シ 大都市	ス 中都市	セ 小都市	ソ 町村

グラフ4 アイヌの人々に対する差別や偏見の有無



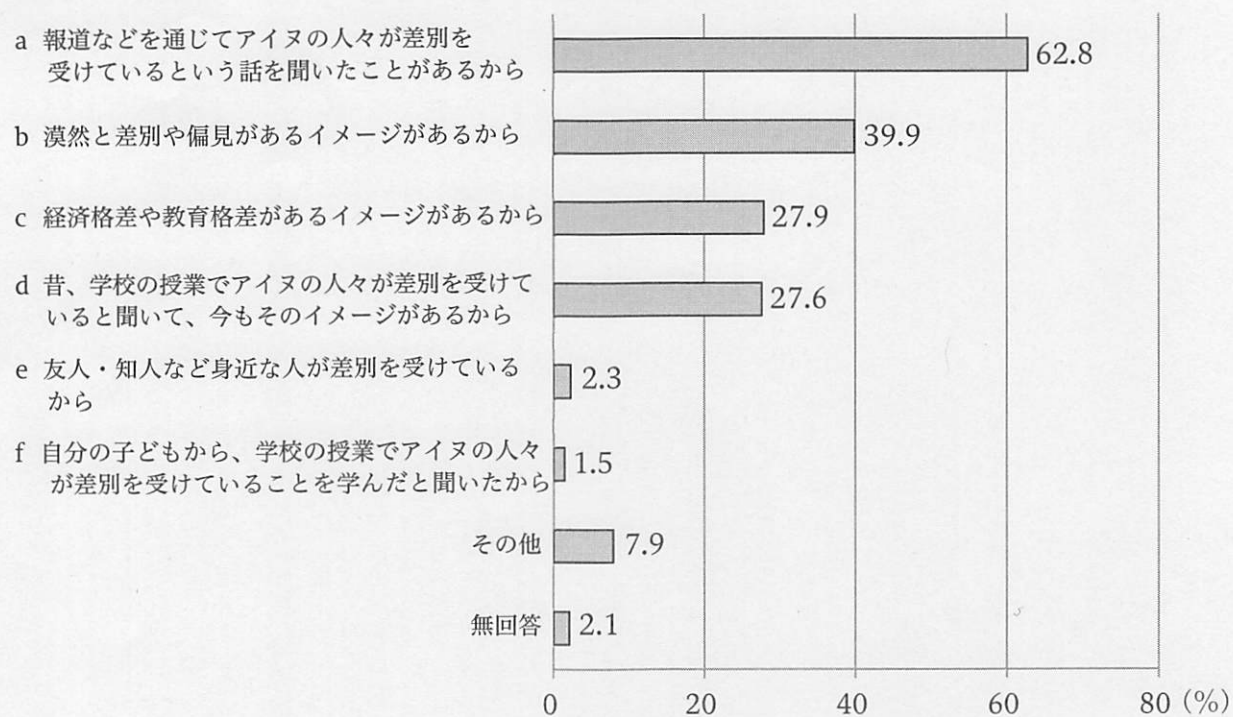
出典：内閣府「アイヌに対する理解度に関する世論調査(令和4年11月調査)」より作成

表5 アイヌの人々に対する差別や偏見の有無（都市規模・年齢別）

		あると思う	ないと思う	わからない	無回答
都市規模	大都市	24.4%	27.2%	48.5%	0%
	中都市	20.8%	28.1%	51.0%	0.1%
	小都市	19.7%	29.6%	49.6%	1.1%
	町村	18.7%	34.1%	47.4%	0%
年齢	18～29歳	20.0%	34.1%	45.9%	0%
	30～39歳	18.5%	25.3%	55.6%	0.6%
	40～49歳	19.2%	21.7%	59.2%	0%
	50～59歳	19.6%	25.4%	54.3%	0.7%
	60～69歳	29.4%	24.8%	45.8%	0%
	70歳以上	19.4%	36.4%	43.8%	0.4%

出典：内閣府「アイヌに対する理解度に関する世論調査(令和4年11月調査)」より作成

グラフ6 差別や偏見があると思った理由



出典：内閣府「アイヌに対する理解度に関する世論調査(令和4年11月調査)」より作成

問3 資料7は、アイヌ民族支援法（アイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現するための施策の推進に関する法律）の部分である。また、問2のグラフ4で「(差別や偏見が) あると思う」と答えた者に対し、差別や偏見の原因・背景を複数回答で尋ねたものがグラフ8、差別や偏見をなくするために必要なことを複数回答で尋ねたものがグラフ9である。

資料7、グラフ8, 9を参照し、以下の問いに答えなさい。

なお、問1、問2の内容および資料1、グラフ2、表3、グラフ4、表5、グラフ6を参考にしてもよい。

- (1) 資料7は、アイヌ民族を先住民族と初めて明記したアイヌ民族支援法の目的についての条文の一部である。この内容に関係した次の文章の空欄（ ）に入る語句を漢字5文字で書きなさい。

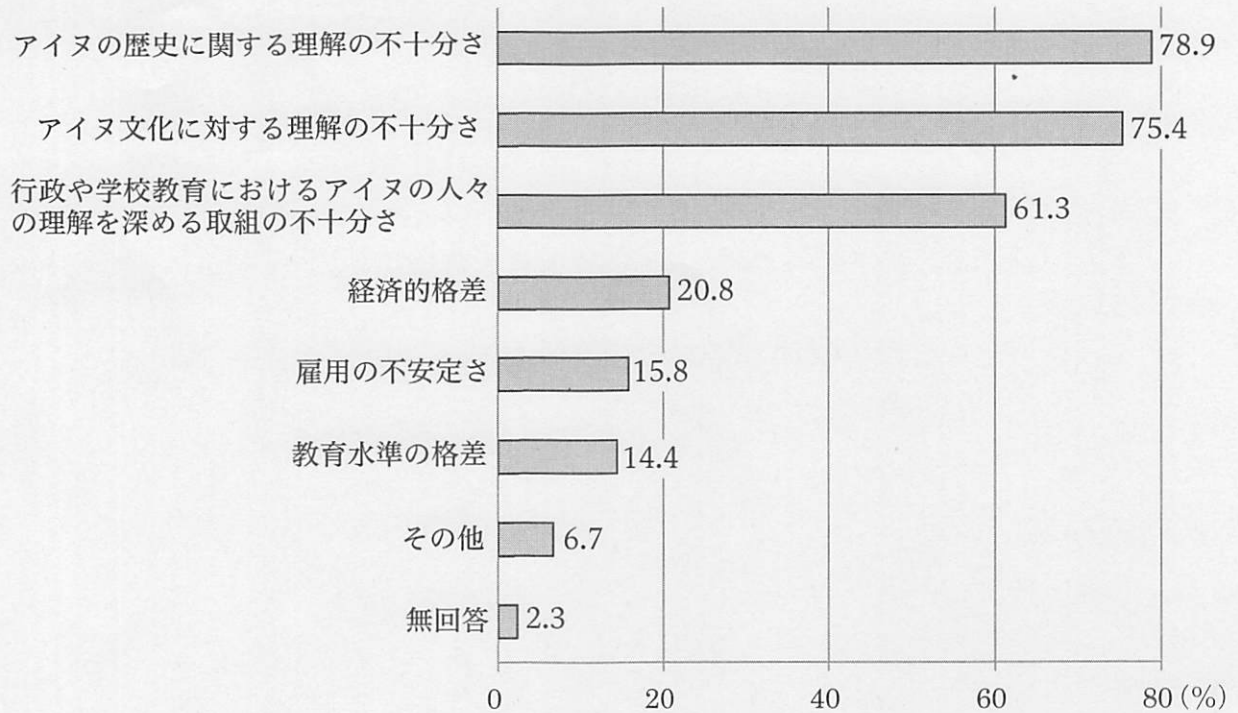
偏見による差別が現在もまだ残っているが、日本国憲法においては、全ての人間は平等な扱いを受ける権利である平等権を持っているとされている。「生まれ」による差別は、日本国憲法の基本原理である（ ）の尊重に反し、許されないものである。

- (2) 資料7によれば、アイヌ民族支援法は、アイヌの人々の民族の誇りが尊重される社会の実現を目的としている。グラフ8, 9から読み取れる差別や偏見の原因・背景を2つ説明し、このような共生社会を実現するためにあなたが考える取組みを2つの面からあげてそれぞれ説明しなさい。解答は120字以上150字以内で記述すること。

#### 資料7 アイヌ民族支援法（部分）

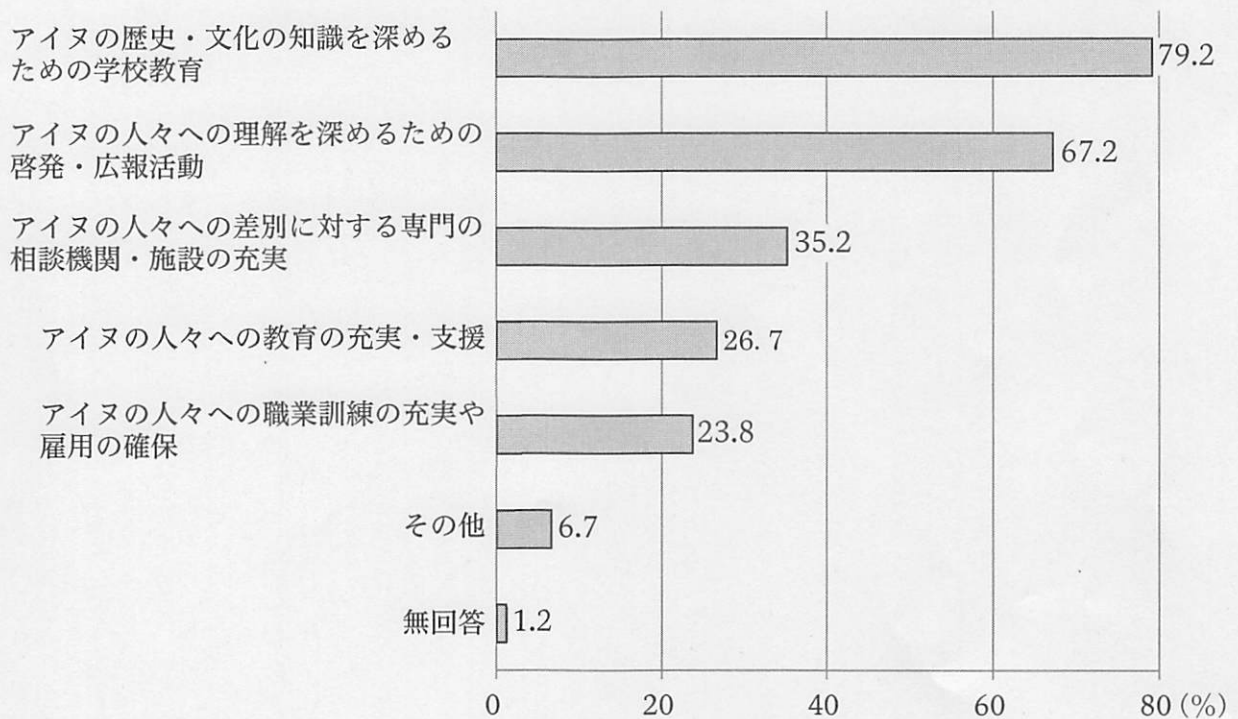
第1条(目的) この法律は、日本列島北部周辺、とりわけ北海道の先住民族であるアイヌの人々の誇りの源泉であるアイヌの伝統及びアイヌ文化が置かれている状況並びに近年における先住民族をめぐる国際情勢に鑑み、アイヌ施策の推進（中略）について定めることにより、アイヌの人々が民族としての誇りを持って生活することができ、及びその誇りが尊重される社会の実現を図り、もって全ての国民が相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に資することを目的とする。

グラフ8 差別や偏見の原因・背景



出典：内閣府「アイヌに対する理解度に関する世論調査(令和4年11月調査)」より作成

グラフ9 差別や偏見をなくするために必要なこと



出典：内閣府「アイヌに対する理解度に関する世論調査(令和4年11月調査)」より作成

2

問1 次の問いに答えよ。

(1)  $\left(-\frac{2}{3}\right)^2 + 3 \times \left(\frac{7}{6} - \frac{11}{9}\right)$  を計算せよ。

(2)  $\frac{2}{5}(7a+4b) - \frac{4}{3}(2a+b)$  を計算せよ。

(3)  $x^3 - x^2 - 2x$  を因数分解せよ。

(4)  $x = \frac{\sqrt{5}-\sqrt{2}}{\sqrt{3}}$ ,  $y = \frac{2\sqrt{3}}{\sqrt{2}}$  のとき、 $9x^2 + 6xy + y^2$  の値を求めよ。

(5)  $ab + 7bc + 8 = 6ac + 5$  を  $a$  について解け。

(6) 1次方程式  $\frac{3}{4}x + \frac{5}{2} = 0.6x + 5.2$  を解け。

(7) 連立方程式  $\begin{cases} 0.4x - 0.3y = 1 \\ \frac{2}{3}x + \frac{1}{8}y = \frac{5}{12} \end{cases}$  を解け。

(8) 2次方程式  $(x-3)^2 + (x+2)(x-1) = 5$  を解け。

(9) A～Jの10人の学生の数学のテストの得点は、表のようになった。このデータの四分位範囲を求めよ。

学生	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
得点	91	66	48	53	35	74	84	14	77	56

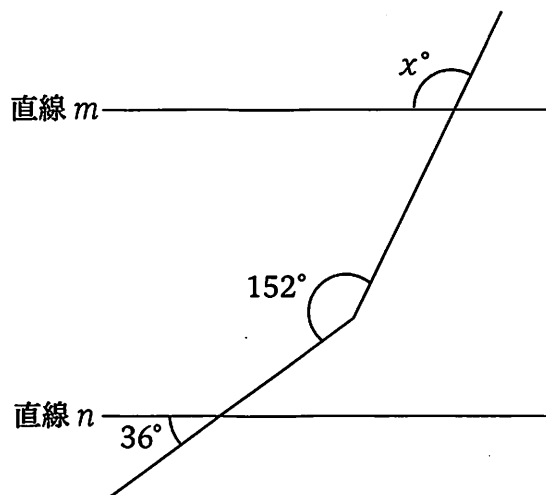
(10) 赤玉2個、青玉2個、白玉2個が入った袋から、同時に2個の玉を取り出すとき、少なくとも1個は青玉が含まれている確率を求めよ。

問2 次の問いに答えよ。

- (1) 面積が同じ2つの長方形をつくることを考える。まず、縦の長さが12cm、横の長さが35cmである長方形Aをつくった。長方形Aと同じ面積の長方形Bを、縦の長さを28cmにしてつくる時、その横の長さを求めよ。
- (2)  $x = -2$  のとき  $y = -\frac{7}{6}$  であり、 $x = 1$  のとき  $y = \frac{5}{6}$  である1次関数の式を求めよ。
- (3)  $y = \frac{5}{2}x - \frac{4}{3}$  のグラフと、 $y = -8x + 1$  のグラフの交点の座標を求めよ。
- (4) 関数  $y = 8x^2$  において、 $x$  が  $-2$  から  $6$  まで変化するときの変化の割合を求めよ。
- (5) 原点を  $O$  とし、 $y = 3x^2$  のグラフ上に、 $x$  座標が  $-2$ 、 $5$  である点をそれぞれ  $A$ 、 $B$  とするとき、 $\triangle OAB$  の面積を求めよ。

問3 次の問いに答えよ。(ただし、円周率を $\pi$ とする。)

- (1) 半径4cm、面積 $6\pi\text{cm}^2$ のおうぎ形の弧の長さを求めよ。
- (2) 底面が1辺2cmの正方形で、高さが5cmの四角柱の表面積を求めよ。
- (3) 次の図で、 $m \parallel n$  のとき、 $x$  の値を求めよ。



- (4) ある多角形があり、その内角の和は $6840^\circ$ である。この正多角形の名称を答えよ。
- (5) 面積が $625\pi\text{cm}^2$ の円の円周の長さを求めよ。